

2009.11.25 シンポジウム「社会的責任とは - ヨーロッパと日本の視点から」

シンポジウム「社会的責任とは - ヨーロッパと日本の視点から」

CSR from European and Japanese Perspective

日時: 2009年11月25日(水曜日) 14:00-18:00

会場: 如水会館(一ツ橋) 3階「松風の間」

(如水会ホームページ <http://www.josuikai.net/> 交通のご案内をご覧ください。)

主催: EU スタディーズ・インスティテュート(EUSI)

共催: 欧州経済社会委員会、日欧産業協力センター

後援: 社団法人 経済同友会

参加費: 無料(申込要)

お申込・お問い合わせ先: EUSI事務局

E-mail: info@eusi.jp

Tel: 042-580-9117

プログラム

13:30 受付

14:00-14:30 開会の辞

- 一橋大学 理事 (副学長)
EUSI諮問委員会 委員長 **山内 進**
 - 日欧産業協力センター 事務局長 **ジュリアン・ゲリエ** 氏
- 司会: EUSI副所長、一橋大学 **小川 英治**

14:30-16:00 **第1セッション 社会的責任(CSR)と企業ガバナンス**

司会: EUSI執行委員、一橋大学 **川崎 恭治**

スピーカー:

- 欧州経済社会委員会 日本コンタクトグループ長、雇用者グループ副部長
イヴ・パーレンセン 氏
「ビジネスの視点から見た社会的責任」
- 日欧産業協力センター 事務局長
ジュリアン・ゲリエ 氏
「日本と欧州のCSR政策: ベスト・プラクティスと今後の協力の可能性」
- 経済同友会 社会的責任経営委員会 副委員長
大久保 和孝 氏 (新日本有限責任監査法人 パートナー)
「経済同友会におけるCSR: 提言活動の変遷について」
- 一橋大学 大学院商学研究科教授
谷本 寛治 氏
「CSRとコーポレートガバナンス: 日本企業の課題」

質疑応答

16:00-16:15 休憩 (コーヒーブレイク)

16:15-17:45 **第2セッション 社会的責任とステークホルダー**

司会: EUSI執行委員、慶應義塾大学 **庄司 克宏**

スピーカー:

- 欧州経済社会委員会 経済・金融統合(ECO)、経済的社会結束代表、EESC内利益団体グループメンバー

クリストフ・パーター 氏

「ヨーロッパにおける社会的経済: 現状と将来」

- 欧州経済社会委員会 労働者グループ、日本コンタクトグループ

エリカ・コラー 氏

「社会的責任への昨今の危機の影響」

- 日本労働組合総連合会 総合政策局 経済政策局局長

川島 千裕 氏

「CSRにおける労働組合の役割」

- 経済産業研究所コンサルティングフェロー

藤井 敏彦 氏

「政策アジェンダとしてのCSR」

質疑応答

17:45-18:00 閉会の辞

- EUSI所長、慶應義塾大学 **田中 俊郎**

同時通訳: 英日・日英

18:00-20:00 レセプションと参加者のネットワーキング

(3階「富士の間」)

司会: EUSI執行委員、津田塾大学 **杉崎 京太**

スピーカー



イヴ・パーレンセン 氏

日本コンタクトグループ長、雇用者グループ副部長



ジュリアン・ゲリエ 氏

日欧産業協力センター 事務局長



大久保 和孝 氏

経済同友会 社会的責任経営委員会 副委員長

新日本有限責任監査法人 パートナー



谷本 寛治 氏

一橋大学 大学院商学研究科教授



クリストフ・パーター 氏

欧州経済社会委員会 雇用、社会問題、市民権グループ部長、利益団体グループ



エリカ・コラー 氏

欧州経済社会委員会 労働者グループ、日本コンタクトグループ



川島 千裕 氏

日本労働組合総連合会 総合政策局 経済政策局局長



藤井 敏彦 氏

独立行政法人 経済産業研究所コンサルティングフェロー